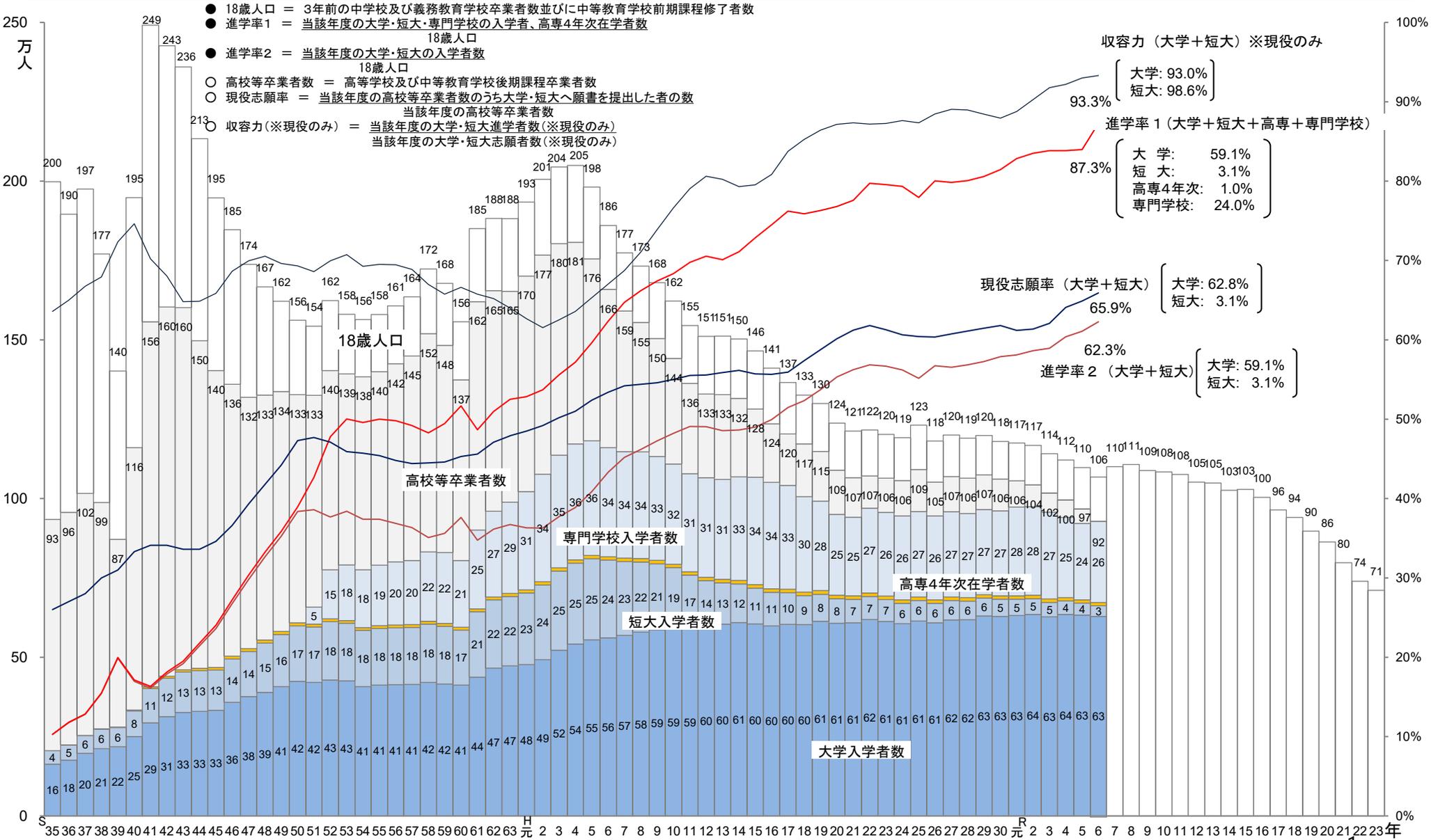


学校法人の経営面に関する現状等について

18歳人口と高等教育機関への進学率等の推移

18歳人口は、ピークであった昭和41年には、約249万人であったが、令和6年には106万人にまで減少。令和23年には71万人にまで減少することが予測されている。高等教育機関への進学率は概ね上昇を続け、令和6年には大学のみで59.1%、全体で87.3%となっている。

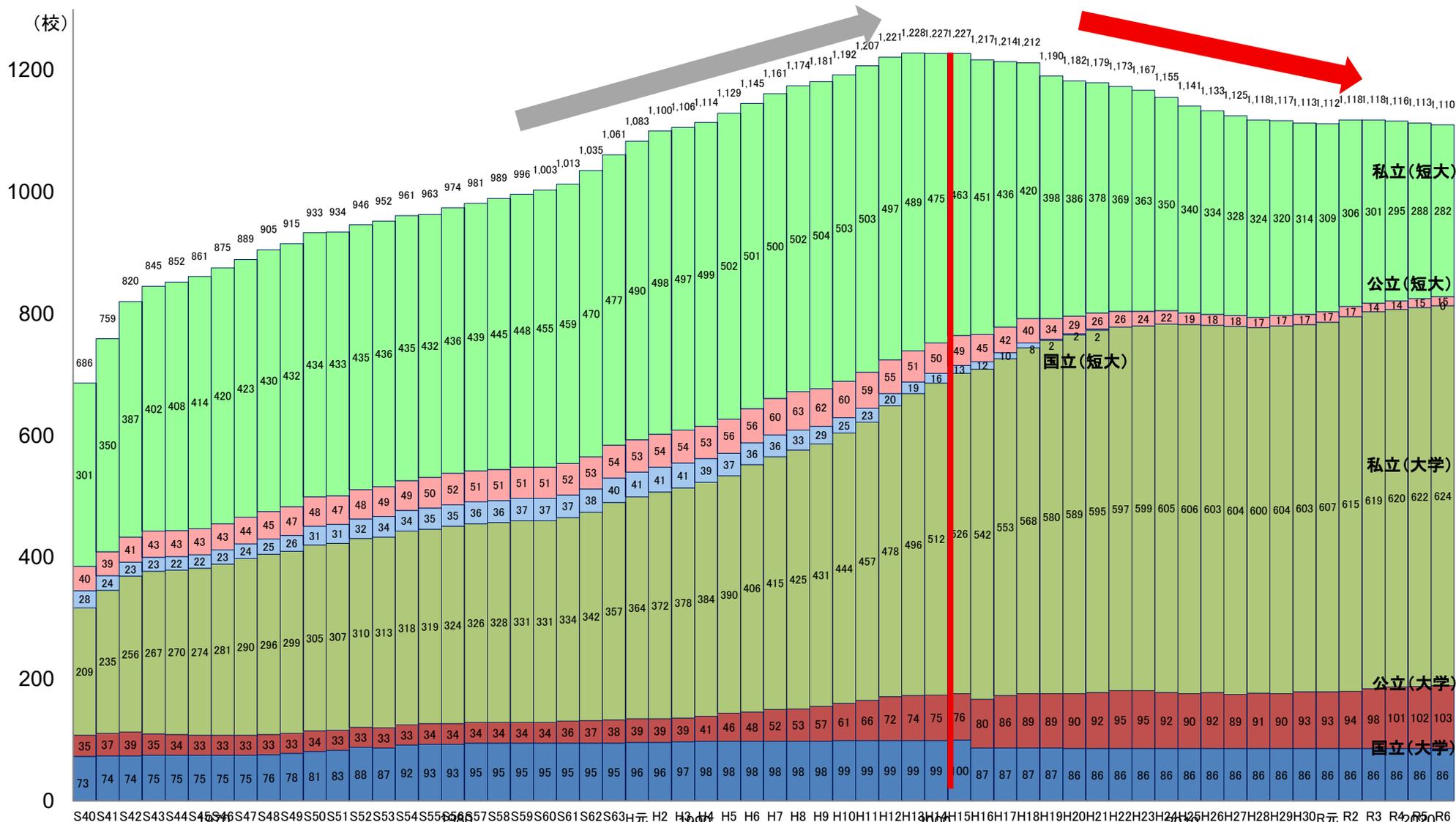


出典: 文部科学省「学校基本統計」。令和7~23年については国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(令和5年推計)(出生低位・死亡低位)」を基に作成。

※進学率、現役志願率については、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の計と合計が一致しない場合がある。

大学・短期大学数の推移

- 近年の主な傾向として、四大化や廃止により短期大学数は減少。
- 平成14年以降は全体的に四大・短大の合計数も減少傾向。国立大学数は平成16年以降ほぼ横ばい。



S40S41S42S43S44S45S46S47S48S49S50S51S52S53S54S55S56S57S58S59S60S61S62S63H元 H2 H3 H4 H5 H6 H7 H8 H9 H10H11H12H13H14 H15H16H17H18H19H20H21H22H23H24H25H26H27H28H29H30R元 R2 R3 R4 R5 R6

※学生募集停止の学校も含む。
 ※通信教育課程のみ置く学校は含まない。

(出典) 文部科学省「学校基本統計」

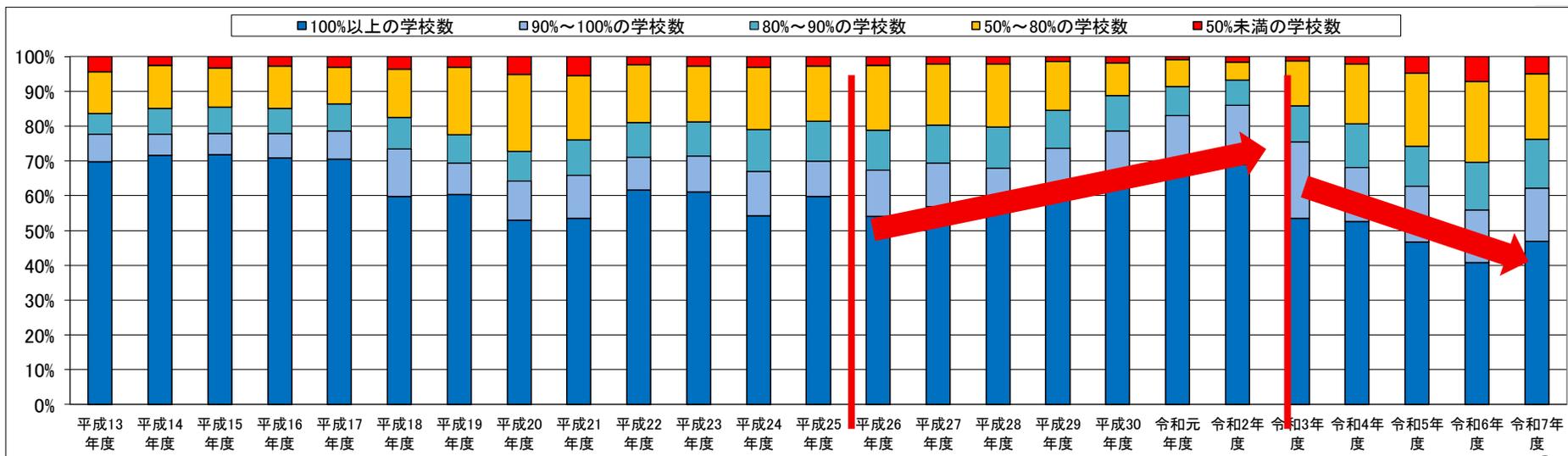
私立大学の入学定員充足率の推移

- 近年の主な傾向として、大学数の増加傾向や少子化等の影響により、全体として私立大学の入学定員充足率は低下傾向。
- 平成26年度～28年度に段階的に実施された定員管理の厳格化や大学入学者の増加により一時は入学定員充足率100%以上の大学は増加したが、令和3年度から再び低下傾向に転じた一方、令和7年度については、18歳人口が令和6年度より増加していること等もあり、入学定員充足率が100%以上の大学が増加。しかし、令和9年度以降に18歳人口が再び減少に転じ、特に令和17年度以降は減少傾向が加速することから、大学数に大きな変動がない場合、入学定員充足率は再び低下傾向を示すことが予想される。

私立大学の入学定員充足状況

区分	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
大学数	493	508	521	533	542	550	559	565	570	569	572	577	576	578	579	577	581	582	587	593	597	598	600	598	594
100%以上の学校数	344	364	374	378	382	329	337	299	305	351	349	313	344	313	329	320	352	372	393	409	320	315	280	244	278
割合	69.8%	71.7%	71.8%	70.9%	70.5%	59.8%	60.3%	52.9%	53.5%	61.7%	61.0%	54.2%	59.7%	54.2%	56.8%	55.5%	60.6%	63.9%	67.0%	69.0%	53.6%	52.7%	46.7%	40.8%	46.8%
90%～100%の学校数	39	31	32	37	44	75	51	64	71	53	60	74	59	76	73	72	76	86	95	101	131	92	96	90	91
割合	7.9%	6.1%	6.1%	6.9%	8.1%	13.6%	9.1%	11.3%	12.5%	9.3%	10.5%	12.8%	10.2%	13.1%	12.6%	12.5%	13.1%	14.8%	16.2%	17.0%	21.9%	15.4%	16.0%	15.1%	15.3%
80%～90%の学校数	29	37	39	39	42	50	45	48	57	57	56	69	66	67	63	68	63	59	48	43	61	75	69	82	84
割合	5.9%	7.3%	7.5%	7.3%	7.7%	9.1%	8.1%	8.5%	10.0%	10.0%	9.8%	12.0%	11.5%	11.6%	10.9%	11.8%	10.8%	10.1%	8.2%	7.3%	10.2%	12.5%	11.5%	13.7%	14.1%
50%～80%の学校数	59	63	59	64	57	76	109	125	106	95	91	103	91	107	101	104	82	54	46	30	78	103	126	139	112
割合	12.0%	12.4%	11.3%	12.0%	10.5%	13.8%	19.5%	22.1%	18.6%	16.7%	15.9%	17.9%	15.8%	18.5%	17.4%	18.0%	14.1%	9.3%	7.8%	5.1%	13.1%	17.2%	21.0%	23.2%	18.9%
50%未満の学校数	22	13	17	15	17	20	17	29	31	13	16	18	16	15	13	13	8	11	5	10	7	13	29	43	29
割合	4.5%	2.6%	3.3%	2.8%	3.1%	3.6%	3.0%	5.1%	5.4%	2.3%	2.8%	3.1%	2.8%	2.6%	2.2%	2.3%	1.4%	1.9%	0.9%	1.7%	1.2%	2.2%	4.8%	7.2%	4.9%
入学定員未充足校	149	144	147	155	160	221	222	266	265	218	223	264	232	265	250	257	229	210	194	184	277	283	320	354	316
割合	30.2%	28.3%	28.2%	29.1%	29.5%	40.2%	39.7%	47.1%	46.5%	38.3%	39.0%	45.8%	40.3%	45.8%	43.2%	44.5%	39.4%	36.1%	33.0%	31.0%	46.4%	47.3%	53.3%	59.2%	53.2%
充足率80%以上校	412	432	445	454	468	454	433	411	433	461	465	456	469	456	465	460	491	517	536	553	512	482	445	416	453
割合	83.6%	85.0%	85.4%	85.2%	86.3%	82.5%	77.5%	72.7%	76.0%	81.0%	81.3%	79.0%	81.4%	78.9%	80.3%	79.7%	84.5%	88.8%	91.3%	93.3%	85.8%	80.6%	74.2%	69.6%	76.3%

(注)大学数に、学生募集停止中の学校、株式会社が設置する学校、通信制課程・大学院のみを設置する学校は含まない。



2040年の予想進学者数等①

「我が国の「知の総和」向上の未来像～高等教育システムの再構築～
 (答申)」関係データ集「2040年の各都道府県進学者推計(出生低位・死亡低位)」から引用、一部追記

	北海道			青森県			岩手県			宮城県			秋田県		
18歳人口【2021】	45,007			11,830			11,379			20,998			8,171		
高校等卒業生数【2021】	40,596			11,056			10,585			19,412			7,586		
大学進学者数【2021】	21,039			4,975			4,460			9,982			3,345		
大学進学率【2021】	46.7%			42.1%			39.2%			47.5%			40.9%		
大学進学率(国公私別)【2021】	10.0%	3.4%	33.4%	12.0%	5.1%	25.0%	11.2%	5.4%	22.6%	9.3%	2.6%	35.6%	14.4%	4.4%	22.2%
短大進学率【2021】	4.1%			4.8%			4.2%			4.6%			5.9%		
専門学校進学率(現役)【2021】	20.8%			14.8%			17.8%			16.2%			16.5%		
大学数【2021】	37			10			6			14			7		
大学数(国公私別)【2021】	7	6	24	1	2	7	1	1	4	2	1	11	1	3	3
入学定員【2021】	18,806			3,363			2,509			11,511			2,090		
入学定員(国公私別)【2021】	5,600	1,345	11,861	1,322	516	1,525	1,030	440	1,039	2,722	420	8,369	955	665	470
大学入学者数【2021】	19,119			3,407			2,544			11,713			2,075		
入学定員充足率【2021】	101.7%			101.3%			101.4%			101.8%			99.3%		
(国公私別)【2021】	5,756	1,434	11,929	1,371	549	1,487	1,068	473	1,003	2,779	453	8,481	985	694	396
(国公私別入学定員充足率)【2021】	102.8%	106.6%	100.6%	103.7%	106.4%	97.5%	103.7%	107.5%	96.5%	102.1%	107.9%	101.3%	103.1%	104.4%	84.3%
県外から流入【2021】	4,954			1,363			1,281			6,061			1,194		
県内から流出【2021】	6,874			2,931			3,197			4,330			2,464		
流出入差(流入-流出)【2021】	-1,921			-1,568			-1,916			1,731			-1,270		
自県進学率【2021】	67.3%			41.1%			28.3%			56.6%			26.3%		
18歳人口推計【2040】	25,440			5,732			5,609			12,328			3,865		
大学進学者数推計【2040】	14,472			2,575			2,373			6,248			1,792		
大学進学率推計【2040】	56.9%			44.9%			42.3%			50.7%			46.4%		
大学入学者数推計【2040】	13,186			1,939			1,465			7,223			1,250		
(国公私別)【2040】	3,970	989	8,227	780	313	846	615	272	578	1,714	279	5,230	593	418	239
入学定員充足率推計【2040】	70.1%			57.7%			58.4%			62.7%			59.8%		
(国公私別)【2040】	70.9%	73.5%	69.4%	59.0%	60.6%	55.5%	59.7%	61.9%	55.6%	63.0%	66.5%	62.5%	62.1%	62.9%	50.8%
大学進学者数【2021】-大学進学者数推計【2040】	-6,567		(-31%)	-2,400		(-48%)	-2,087		(-47%)	-3,734		(-37%)	-1,553		(-46%)
大学入学者数【2021】-大学入学者数推計【2040】	-5,932		(-31%)	-1,468		(-43%)	-1,079		(-42%)	-4,490		(-38%)	-825		(-40%)

(参考) 大学進学者...各県に所在する高校等を卒業した者で、全国いずれかの大学に進学した者
 大学入学者...各県に所在する大学に入学した者

2040年の予想進学者数等②

	山形県			福島県			茨城県			栃木県			群馬県		
18歳人口【2021】	10,269			17,622			27,454			18,417			18,806		
高校等卒業者数【2021】	9,555			16,130			25,234			17,183			16,849		
大学進学者数【2021】	4,097			7,215			14,797			9,063			8,971		
大学進学率【2021】	39.9%			40.9%			53.9%			49.2%			47.7%		
大学進学率(国公私別)【2021】	11.0%	2.7%	26.2%	7.6%	3.2%	30.1%	8.5%	2.1%	43.3%	8.5%	2.0%	38.8%	7.9%	3.7%	36.0%
短大進学率【2021】	4.7%			5.0%			2.7%			4.0%			4.2%		
専門学校進学率(現役)【2021】	18.1%			15.6%			17.2%			16.9%			15.5%		
大学数【2021】	6			8			10			9			15		
大学数(国公私別)【2021】	1	2	3	1	2	5	3	1	6	1	0	8	1	4	10
入学定員【2021】	2,766			3,579			6,461			4,668			5,785		
入学定員(国公私別)【2021】	1,663	145	958	945	599	2,035	3,760	170	2,531	910	0	3,758	1,098	1,482	3,205
大学入学者数【2021】	2,792			3,451			6,697			4,823			5,983		
入学定員充足率【2021】	100.9%			96.4%			103.6%			103.3%			103.4%		
(国公私別)【2021】	1,690	148	954	991	605	1,855	3,829	171	2,697	929	0	3,894	1,142	1,551	3,290
(国公私別入学定員充足率)【2021】	101.6%	102.1%	99.6%	104.9%	101.0%	91.2%	101.8%	100.6%	106.5%	102.1%	#DIV/0!	103.6%	104.0%	104.7%	102.7%
県外から流入【2021】	1,868			1,822			3,727			2,639			3,249		
県内から流出【2021】	3,173			5,586			11,827			6,879			6,237		
流出入差(流入-流出)【2021】	-1,305			-3,764			-8,101			-4,240			-2,988		
自県進学率【2021】	22.6%			22.6%			20.1%			24.1%			30.5%		
18歳人口推計【2040】	5,334			8,873			15,183			10,379			10,284		
大学進学者数推計【2040】	2,250			4,077			9,274			5,305			5,213		
大学進学率推計【2040】	42.2%			46.0%			61.1%			51.1%			50.7%		
大学入学者数推計【2040】	1,691			2,093			4,832			3,034			4,702		
(国公私別)【2040】	1,024	90	578	601	367	1,125	2,763	123	1,946	584	0	2,450	897	1,219	2,585
入学定員充足率推計【2040】	61.1%			58.5%			74.8%			65.0%			81.3%		
(国公私別)【2040】	61.6%	61.8%	60.3%	63.6%	61.2%	55.3%	73.5%	72.6%	76.9%	64.2%	#DIV/0!	65.2%	81.7%	82.2%	80.7%
大学進学者数【2021】-大学進学者数推計【2040】	-1,847		(-45%)	-3,138		(-43%)	-5,523		(-37%)	-3,758		(-41%)	-3,758		(-42%)
大学入学者数【2021】-大学入学者数推計【2040】	-1,101		(-39%)	-1,358		(-39%)	-1,864		(-28%)	-1,789		(-37%)	-1,281		(-21%)

(参考) 大学進学者...各県に所在する高校等を卒業した者で、全国いずれかの大学に進学した者
 大学入学者...各県に所在する大学に入学した者

2040年の予想進学者数等③

	埼玉県			千葉県			東京都			神奈川県			新潟県		
18歳人口【2021】	64,508			54,908			104,150			78,433			19,807		
高校等卒業生数【2021】	56,216			49,294			101,997			67,477			18,071		
大学進学者数【2021】	35,056			30,362			78,180			44,498			8,698		
大学進学率【2021】	54.3%			55.3%			75.1%			56.7%			43.9%		
大学進学率(国公私別)【2021】	4.2%	0.9%	49.3%	4.3%	0.6%	50.4%	6.7%	1.0%	67.3%	3.7%	1.2%	51.8%	9.6%	4.0%	30.4%
短大進学率【2021】	3.5%			3.1%			1.9%			2.9%			3.8%		
専門学校進学率(現役)【2021】	16.1%			17.6%			11.8%			14.7%			24.6%		
大学数【2021】	27			27			146			32			22		
大学数(国公私別)【2021】	1	1	25	1	1	25	12	2	132	2	2	28	3	4	15
入学定員【2021】	28,855			25,751			153,377			44,893			6,699		
入学定員(国公私別)【2021】	1,535	395	26,925	2,592	180	22,979	9,716	1,570	142,091	1,662	1,130	42,101	2,467	765	3,467
大学入学者数【2021】	28,847			27,402			153,519			45,619			6,592		
入学定員充足率【2021】	100.0%			106.4%			100.1%			101.6%			98.4%		
(国公私別)【2021】	1,598	406	26,843	2,635	180	24,587	10,055	1,592	141,872	1,697	1,174	42,748	2,547	826	3,219
(国公私別入学定員充足率)【2021】	104.1%	102.8%	99.7%	101.7%	100.0%	107.0%	103.5%	101.4%	99.8%	102.1%	103.9%	101.5%	103.2%	108.0%	92.8%
県外から流入【2021】	18,497			17,051			100,599			28,384			3,132		
県内から流出【2021】	24,706			20,011			25,261			27,263			5,238		
流出入差(流入-流出)【2021】	-6,209			-2,961			75,339			1,121			-2,106		
自県進学率【2021】	29.5%			34.1%			67.7%			38.7%			39.8%		
18歳人口推計【2040】	41,712			35,741			92,106			52,183			11,136		
大学進学者数推計【2040】	25,180			21,885			74,182			32,200			5,417		
大学進学率推計【2040】	60.4%			61.2%			80.5%			61.7%			48.6%		
大学入学者数推計【2040】	21,388			20,123			121,312			34,648			4,163		
(国公私別)【2040】	1,185	301	19,902	1,935	132	18,056	7,946	1,258	112,109	1,289	892	32,468	1,609	522	2,033
入学定員充足率推計【2040】	74.1%			78.1%			79.1%			77.2%			62.1%		
(国公私別)【2040】	77.2%	76.2%	73.9%	74.7%	73.4%	78.6%	81.8%	80.1%	78.9%	77.6%	78.9%	77.1%	65.2%	68.2%	58.6%
大学進学者数【2021】-大学進学者数推計【2040】	-9,876		(-28%)	-8,477		(-28%)	-3,998		(-5%)	-12,298		(-28%)	-3,281		(-38%)
大学入学者数【2021】-大学入学者数推計【2040】	-7,459		(-26%)	-7,278		(-27%)	-32,206		(-21%)	-10,971		(-24%)	-2,429		(-37%)

(参考) 大学進学者...各県に所在する高校等を卒業した者で、全国いずれかの大学に進学した者
 大学入学者...各県に所在する大学に入学した者

2040年の予想進学者数等④

	富山県			石川県			福井県			山梨県			長野県		
18歳人口【2021】	9,656			10,574			7,584			7,768			20,242		
高校等卒業者数【2021】	8,898			10,073			7,246			7,874			18,424		
大学進学者数【2021】	4,561			5,607			4,104			5,018			9,269		
大学進学率【2021】	47.2%			53.0%			54.1%			64.6%			45.8%		
大学進学率(国公私別)【2021】	13.5%	5.6%	28.2%	13.7%	5.2%	34.1%	14.6%	6.3%	33.3%	9.5%	5.7%	49.4%	8.5%	4.1%	33.2%
短大進学率【2021】	6.4%			5.7%			4.8%			5.4%			6.9%		
専門学校進学率(現役)【2021】	15.8%			13.5%			13.9%			17.9%			19.5%		
大学数【2021】	5			14			6			7			11		
大学数(国公私別)【2021】	1	1	3	2	4	8	1	2	3	1	2	4	1	4	6
入学定員【2021】	2,575			6,502			2,300			4,169			4,020		
入学定員(国公私別)【2021】	1,770	495	310	1,726	590	4,186	855	450	995	825	990	2,354	1,978	960	1,082
大学入学者数【2021】	2,588			6,492			2,362			4,245			4,163		
入学定員充足率【2021】	100.5%			99.8%			102.7%			101.8%			103.6%		
(国公私別)【2021】	1,832	480	276	1,764	620	4,108	895	485	982	851	1,075	2,319	2,023	1,007	1,133
(国公私別入学定員充足率)【2021】	103.5%	97.0%	89.0%	102.2%	105.1%	98.1%	104.7%	107.8%	98.7%	103.2%	108.6%	98.5%	102.3%	104.9%	104.7%
県外から流入【2021】	1,640			3,813			1,083			3,012			2,276		
県内から流出【2021】	3,613			2,928			2,825			3,785			7,382		
流出入差(流入-流出)【2021】	-1,973			885			-1,742			-773			-5,106		
自県進学率【2021】	20.8%			47.8%			31.2%			24.6%			20.4%		
18歳人口推計【2040】	5,640			6,596			4,651			4,521			11,393		
大学進学者数推計【2040】	3,070			3,958			2,826			3,308			6,113		
大学進学率推計【2040】	54.4%			60.0%			60.8%			73.2%			53.7%		
大学入学者数推計【2040】	1,773			4,473			1,648			3,025			2,831		
(国公私別)【2040】	1,255	329	189	1,215	427	2,831	624	338	685	606	766	1,652	1,376	685	770
入学定員充足率推計【2040】	68.8%			68.8%			71.6%			72.6%			70.4%		
(国公私別)【2040】	70.9%	66.4%	61.0%	70.4%	72.4%	67.6%	73.0%	75.2%	68.8%	73.5%	77.4%	70.2%	69.5%	71.3%	71.2%
大学進学者数【2021】-大学進学者数推計【2040】	-1,491 (-33%)			-1,649 (-29%)			-1,278 (-31%)			-1,710 (-34%)			-3,156 (-34%)		
大学入学者数【2021】-大学入学者数推計【2040】	-815 (-32%)			-2,019 (-31%)			-714 (-30%)			-1,220 (-29%)			-1,332 (-32%)		

(参考) 大学進学者...各県に所在する高校等を卒業した者で、全国いずれかの大学に進学した者
 大学入学者...各県に所在する大学に入学した者

2040年の予想進学者数等⑤

	岐阜県			静岡県			愛知県			三重県			滋賀県		
18歳人口【2021】	20,034			34,622			71,537			17,458			14,328		
高校等卒業生数【2021】	17,986			31,948			63,402			15,401			12,836		
大学進学者数【2021】	9,760			16,879			38,573			7,864			7,185		
大学進学率【2021】	48.7%			48.8%			53.9%			45.0%			50.1%		
大学進学率(国公私別)【2021】	9.1%	3.2%	36.4%	8.4%	3.9%	36.4%	9.6%	3.0%	41.3%	8.7%	2.5%	33.8%	6.7%	3.3%	40.1%
短大進学率【2021】	5.4%			3.5%			3.1%			4.9%			4.7%		
専門学校進学率(現役)【2021】	12.4%			15.7%			12.1%			12.8%			15.3%		
大学数【2021】	13			14			52			7			9		
大学数(国公私別)【2021】	1	3	9	2	4	8	4	3	45	1	1	5	2	1	6
入学定員【2021】	4,940			8,090			41,964			3,190			7,548		
入学定員(国公私別)【2021】	1,240	200	3,500	2,145	935	5,010	3,976	1,764	36,224	1,310	100	1,780	945	600	6,003
大学入学者数【2021】	4,825			7,970			42,461			3,303			7,661		
入学定員充足率【2021】	97.7%			98.5%			101.2%			103.5%			101.5%		
(国公私別)【2021】	1,265	220	3,340	2,166	1,051	4,753	4,092	1,830	36,539	1,335	102	1,866	957	625	6,079
(国公私別入学定員充足率)【2021】	102.0%	110.0%	95.4%	101.0%	112.4%	94.9%	102.9%	103.7%	100.9%	101.9%	102.0%	104.8%	101.3%	104.2%	101.3%
県外から流入【2021】	2,679			3,165			14,960			1,554			6,052		
県内から流出【2021】	7,614			12,074			11,072			6,115			5,576		
流出入差(流入-流出)【2021】	-4,935			-8,909			3,888			-4,561			476		
自県進学率【2021】	22.0%			28.5%			71.3%			22.2%			22.4%		
18歳人口推計【2040】	10,969			19,553			49,082			10,378			9,494		
大学進学者数推計【2040】	6,176			9,720			28,536			5,082			5,604		
大学進学率推計【2040】	56.3%			49.7%			58.1%			49.0%			59.0%		
大学入学者数推計【2040】	3,307			5,082			30,368			2,276			5,606		
(国公私別)【2040】	867	151	2,289	1,381	670	3,031	2,927	1,309	26,132	920	70	1,286	700	457	4,448
入学定員充足率推計【2040】	67.0%			62.8%			72.4%			71.4%			74.3%		
(国公私別)【2040】	69.9%	75.4%	65.4%	64.4%	71.7%	60.5%	73.6%	74.2%	72.1%	70.2%	70.3%	72.2%	74.1%	76.2%	74.1%
大学進学者数【2021】-大学進学者数推計【2040】	-3,584 (-37%)			-7,159 (-42%)			-10,037 (-26%)			-2,782 (-35%)			-1,581 (-22%)		
大学入学者数【2021】-大学入学者数推計【2040】	-1,518 (-31%)			-2,888 (-36%)			-12,093 (-28%)			-1,027 (-31%)			-2,055 (-27%)		

(参考) 大学進学者...各県に所在する高校等を卒業した者で、全国いずれかの大学に進学した者
 大学入学者...各県に所在する大学に入学した者

2040年の予想進学者数等⑥

	京都府			大阪府			兵庫県			奈良県			和歌山県		
18歳人口【2021】	23,145			79,549			51,482			12,973			8,809		
高校等卒業者数【2021】	22,526			71,803			45,157			11,585			8,163		
大学進学者数【2021】	15,965			47,469			29,769			7,877			4,366		
大学進学率【2021】	69.0%			59.7%			57.8%			60.7%			49.6%		
大学進学率(国公私別)【2021】	8.6%	4.2%	56.1%	5.9%	3.0%	50.7%	8.9%	4.2%	44.8%	10.5%	3.9%	46.3%	9.5%	3.9%	36.2%
短大進学率【2021】	4.1%			4.6%			3.6%			4.2%			4.0%		
専門学校進学率(現役)【2021】	13.1%			13.7%			12.1%			11.2%			16.6%		
大学数【2021】	34			56			36			11			5		
大学数(国公私別)【2021】	3	4	27	2	2	52	2	4	30	3	2	6	1	1	3
入学定員【2021】	35,123			54,721			27,777			4,858			2,035		
入学定員(国公私別)【2021】	3,706	1,046	30,371	4,155	2,863	47,703	2,690	1,902	23,185	730	348	3,780	890	280	865
大学入学者数【2021】	35,049			56,375			27,050			4,777			2,038		
入学定員充足率【2021】	99.8%			103.0%			97.4%			98.3%			100.1%		
(国公私別)【2021】	3,820	1,082	30,147	4,278	2,943	49,154	2,767	1,897	22,386	770	348	3,659	939	281	818
(国公私別入学定員充足率)【2021】	103.1%	103.4%	99.3%	103.0%	102.8%	103.0%	102.9%	99.7%	96.6%	105.5%	100.0%	96.8%	105.5%	100.4%	94.6%
県外から流入【2021】	26,717			28,439			13,866			3,648			1,261		
県内から流出【2021】	7,633			19,533			16,585			6,748			3,589		
流出入差(流入-流出)【2021】	19,084			8,906			-2,719			-3,100			-2,328		
自県進学率【2021】	52.2%			58.9%			44.3%			14.3%			17.8%		
18歳人口推計【2040】	14,655			51,865			32,315			7,294			4,953		
大学進学者数推計【2040】	11,080			35,810			20,725			5,043			2,888		
大学進学率推計【2040】	75.6%			69.0%			64.1%			69.1%			58.3%		
大学入学者数推計【2040】	25,337			41,204			19,487			3,378			1,434		
(国公私別)【2040】	2,762	782	21,793	3,127	2,151	35,927	1,993	1,367	16,127	545	246	2,588	661	198	576
入学定員充足率推計【2040】	72.1%			75.3%			70.2%			69.5%			70.5%		
(国公私別)【2040】	74.5%	74.8%	71.8%	75.3%	75.1%	75.3%	74.1%	71.9%	69.6%	74.6%	70.7%	68.5%	74.2%	70.6%	66.5%
大学進学者数【2021】-大学進学者数推計【2040】	-4,885		(-31%)	-11,659		(-25%)	-9,044		(-30%)	-2,834		(-36%)	-1,478		(-34%)
大学入学者数【2021】-大学入学者数推計【2040】	-9,712		(-28%)	-15,171		(-27%)	-7,563		(-28%)	-1,399		(-29%)	-604		(-30%)

(参考) 大学進学者...各県に所在する高校等を卒業した者で、全国いずれかの大学に進学した者
 大学入学者...各県に所在する大学に入学した者

2040年の予想進学者数等⑦

	鳥取県			島根県			岡山県			広島県			山口県		
18歳人口【2021】	5,195			6,233			18,190			26,108			12,219		
高校等卒業者数【2021】	4,820			6,014			17,342			22,985			10,855		
大学進学者数【2021】	2,177			2,748			9,328			14,387			4,706		
大学進学率【2021】	41.9%			44.1%			51.3%			55.1%			38.5%		
大学進学率(国公私別)【2021】	14.2%	5.1%	22.6%	12.5%	7.0%	24.6%	12.7%	4.2%	34.4%	11.4%	5.2%	38.5%	10.0%	4.9%	23.6%
短大進学率【2021】	7.2%			5.0%			4.0%			2.9%			4.5%		
専門学校進学率(現役)【2021】	18.0%			20.1%			17.3%			10.7%			14.2%		
大学数【2021】	3			2			18			21			10		
大学数(国公私別)【2021】	1	1	1	1	1	0	1	2	15	1	5	15	1	3	6
入学定員【2021】	1,519			1,617			9,905			13,399			4,211		
入学定員(国公私別)【2021】	1,139	300	80	1,157	460	0	2,195	550	7,160	2,336	1,570	9,493	1,917	1,084	1,210
大学入学者数【2021】	1,554			1,682			9,068			13,328			4,306		
入学定員充足率【2021】	102.3%			104.0%			91.5%			99.5%			102.3%		
(国公私別)【2021】	1,161	315	78	1,206	476	0	2,257	577	6,234	2,407	1,677	9,244	1,965	1,113	1,228
(国公私別入学定員充足率)【2021】	101.9%	105.0%	97.5%	104.2%	103.5%	—	102.8%	104.9%	87.1%	103.0%	106.8%	97.4%	102.5%	102.7%	101.5%
県外から流入【2021】	1,223			1,203			5,111			5,662			3,090		
県内から流出【2021】	1,846			2,269			5,371			6,721			3,490		
流出入差(流入-流出)【2021】	-623			-1,066			-260			-1,059			-400		
自県進学率【2021】	15.2%			17.4%			42.4%			53.3%			25.8%		
18歳人口推計【2040】	3,259			3,996			11,892			16,686			7,063		
大学進学者数推計【2040】	1,581			1,864			6,952			9,211			2,721		
大学進学率推計【2040】	48.5%			46.6%			58.5%			55.2%			38.5%		
大学入学者数推計【2040】	1,100			1,169			6,514			8,838			3,011		
(国公私別)【2040】	821	223	55	838	331	0	1,621	414	4,478	1,596	1,112	6,130	1,374	778	859
入学定員充足率推計【2040】	72.4%			72.3%			65.8%			66.0%			71.5%		
(国公私別)【2040】	72.1%	74.3%	69.0%	72.4%	71.9%	—	73.9%	75.4%	62.5%	68.3%	70.8%	64.6%	71.7%	71.8%	71.0%
大学進学者数【2021】—大学進学者数推計【2040】	-596 (-27%)			-884 (-32%)			-2,376 (-25%)			-5,176 (-36%)			-1,985 (-42%)		
大学入学者数【2021】—大学入学者数推計【2040】	-454 (-29%)			-513 (-31%)			-2,554 (-28%)			-4,490 (-34%)			-1,295 (-30%)		

(参考) 大学進学者...各県に所在する高校等を卒業した者で、全国いずれかの大学に進学した者
 大学入学者...各県に所在する大学に入学した者

2040年の予想進学者数等⑧

	徳島県			香川県			愛媛県			高知県			福岡県		
18歳人口【2021】	6,581			9,310			12,483			6,184			46,524		
高校等卒業生数【2021】	6,054			8,593			11,445			5,891			41,516		
大学進学者数【2021】	3,246			4,840			6,144			2,845			22,333		
大学進学率【2021】	49.3%			52.0%			49.2%			46.0%			48.0%		
大学進学率(国公私別)【2021】	16.0%		29.9%	13.5%	3.7%	34.7%	14.8%	4.2%	30.2%	9.9%	6.2%	29.8%	9.3%	3.0%	35.7%
短大進学率【2021】	4.0%			4.8%			4.5%			4.3%			4.4%		
専門学校進学率(現役)【2021】	14.9%			15.8%			17.1%			16.1%			16.1%		
大学数【2021】	4			4			5			5			35		
大学数(国公私別)【2021】	2	0	2	1	1	2	1	1	3	1	2	2	3	4	28
入学定員【2021】	2,893			2,189			3,860			2,215			25,761		
入学定員(国公私別)【2021】	1,388	0	1,505	1,239	90	860	1,770	100	1,990	1,075	860	280	4,110	1,999	19,652
大学入学者数【2021】	2,638			2,092			3,875			2,212			25,963		
入学定員充足率【2021】	91.2%			95.6%			100.4%			99.9%			100.8%		
(国公私別)【2021】	1,422	0	1,216	1,275	90	727	1,818	100	1,957	1,110	906	196	4,214	2,097	19,652
(国公私別入学定員充足率)【2021】	102.4%	—	80.8%	102.9%	100.0%	84.5%	102.7%	100.0%	98.3%	103.3%	105.3%	70.0%	102.5%	104.9%	100.0%
県外から流入【2021】	1,455			1,260			1,840			1,459			11,422		
県内から流出【2021】	2,063			4,008			4,109			2,092			7,792		
流出入差(流入-流出)【2021】	-608			-2,748			-2,269			-633			3,630		
自県進学率【2021】	36.4%			17.2%			33.1%			26.5%			65.1%		
18歳人口推計【2040】	3,829			5,640			7,171			3,528			34,719		
大学進学者数推計【2040】	2,034			3,278			3,998			1,817			17,081		
大学進学率推計【2040】	53.1%			58.1%			55.7%			51.5%			49.2%		
大学入学者数推計【2040】	1,778			1,444			2,589			1,497			19,315		
(国公私別)【2040】	958	0	820	880	62	502	1,215	67	1,307	751	613	133	3,135	1,560	14,620
入学定員充足率推計【2040】	61.5%			66.0%			67.1%			67.6%			75.0%		
(国公私別)【2040】	69.0%	—	54.5%	71.0%	69.0%	58.3%	68.6%	66.8%	65.7%	69.9%	71.3%	47.4%	76.3%	78.0%	74.4%
大学進学者数【2021】-大学進学者数推計【2040】	-1,212		(-37%)	-1,562		(-32%)	-2,146		(-35%)	-1,028		(-36%)	-5,252		(-24%)
大学入学者数【2021】-大学入学者数推計【2040】	-860		(-33%)	-648		(-31%)	-1,286		(-33%)	-715		(-32%)	-6,648		(-26%)

(参考) 大学進学者...各県に所在する高校等を卒業した者で、全国いずれかの大学に進学した者
 大学入学者...各県に所在する大学に入学した者

2040年の予想進学者数等⑨

	佐賀県			長崎県			熊本県			大分県			宮崎県		
18歳人口【2021】	8,412			12,691			16,741			10,244			10,517		
高校等卒業者数【2021】	7,697			11,857			15,073			9,745			9,842		
大学進学者数【2021】	3,455			5,434			7,075			4,091			4,180		
大学進学率【2021】	41.1%			42.8%			42.3%			39.9%			39.7%		
大学進学率(国公私別)【2021】	12.3%	2.1%	26.7%	14.2%	5.3%	23.3%	10.1%	3.4%	28.8%	13.5%	4.2%	22.3%	12.8%	4.2%	22.8%
短大進学率【2021】	4.2%			3.8%			3.2%			7.1%			4.7%		
専門学校進学率(現役)【2021】	16.5%			15.5%			18.1%			20.1%			16.1%		
大学数【2021】	2			8			9			5			7		
大学数(国公私別)【2021】	1	0	1	1	1	6	1	1	7	1	1	3	1	2	4
入学定員【2021】	1,818			3,986			5,712			3,520			2,335		
入学定員(国公私別)【2021】	1,278	0	540	1,641	730	1,615	1,667	480	3,565	1,070	80	2,370	1,035	300	1,000
大学入学者数【2021】	1,817			3,914			5,643			3,029			2,174		
入学定員充足率【2021】	99.9%			98.2%			98.8%			86.1%			93.1%		
(国公私別)【2021】	1,315	0	502	1,657	752	1,505	1,706	505	3,432	1,086	81	1,862	1,064	312	798
(国公私別入学定員充足率)【2021】	102.9%	—	93.0%	101.0%	103.0%	93.2%	102.3%	105.2%	96.3%	101.5%	101.3%	78.6%	102.8%	104.0%	79.8%
県外から流入【2021】	1,244			1,942			2,357			1,947			1,096		
県内から流出【2021】	2,882			3,462			3,789			3,009			3,102		
流出入差(流入-流出)【2021】	-1,638			-1,520			-1,432			-1,062			-2,006		
自県進学率【2021】	16.6%			36.3%			46.4%			26.4%			25.8%		
18歳人口推計【2040】	5,622			7,814			11,584			6,503			6,901		
大学進学者数推計【2040】	2,438			3,889			5,003			2,849			2,845		
大学進学率推計【2040】	43.4%			49.8%			43.2%			43.8%			41.2%		
大学入学者数推計【2040】	1,326			2,857			4,052			2,258			1,528		
(国公私別)【2040】	959	0	366	1,209	549	1,098	1,225	363	2,465	809	60	1,388	748	219	561
入学定員充足率推計【2040】	72.9%			71.7%			70.9%			64.1%			65.5%		
(国公私別)【2040】	75.1%	—	67.8%	73.7%	75.2%	68.0%	73.5%	75.5%	69.1%	75.6%	75.5%	58.6%	72.3%	73.1%	56.1%
大学進学者数【2021】-大学進学者数推計【2040】	-1,017 (-29%)			-1,545 (-28%)			-2,072 (-29%)			-1,242 (-30%)			-1,335 (-32%)		
大学入学者数【2021】-大学入学者数推計【2040】	-491 (-27%)			-1,057 (-27%)			-1,591 (-28%)			-771 (-25%)			-646 (-30%)		

(参考) 大学進学者...各県に所在する高校等を卒業した者で、全国いずれかの大学に進学した者
 大学入学者...各県に所在する大学に入学した者

2040年の予想進学者数等⑩

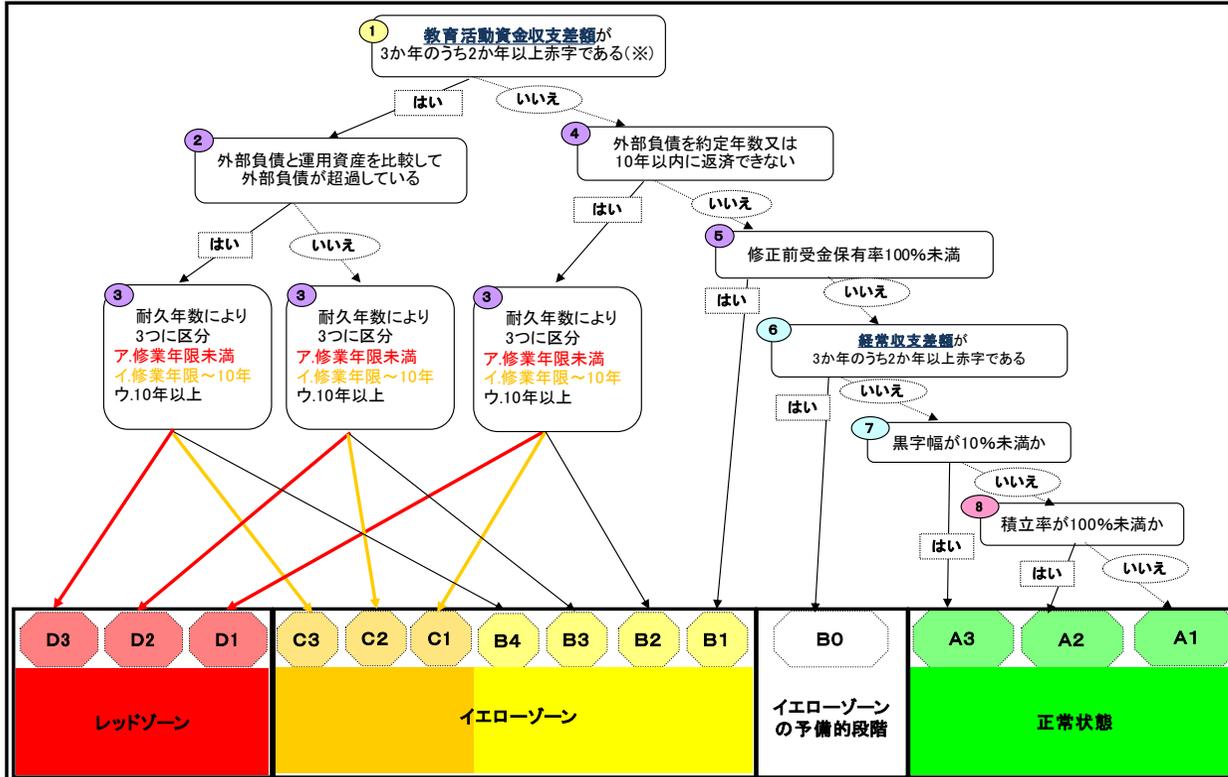
	鹿児島県			沖縄県		
18歳人口【2021】	15,625			16,363		
高校等卒業生数【2021】	14,227			14,424		
大学進学者数【2021】	6,126			7,002		
大学進学率【2021】	39.2%			42.8%		
大学進学率(国公私別)【2021】	12.0%	2.4%	24.8%	9.6%	3.4%	29.8%
短大進学率【2021】	7.2%			3.6%		
専門学校進学率(現役)【2021】	19.6%			24.0%		
大学数【2021】	6			8		
大学数(国公私別)【2021】	2	0	4	1	3	4
入学定員【2021】	3,683			3,972		
入学定員(国公私別)【2021】	2,053	0	1,630	1,547	640	1,785
大学入学者数【2021】	3,652			4,153		
入学定員充足率【2021】	99.2%			104.6%		
(国公私別)【2021】	2,100	0	1,552	1,567	664	1,922
(国公私別入学定員充足率)【2021】	102.3%	—	95.2%	101.3%	103.8%	107.7%
県外から流入【2021】	1,601			937		
県内から流出【2021】	4,075			3,786		
流出入差(流入-流出)【2021】	-2,474			-2,849		
自県進学率【2021】	33.5%			45.9%		
18歳人口推計【2040】	10,500			13,082		
大学進学者数推計【2040】	4,371			6,212		
大学進学率推計【2040】	41.6%			47.5%		
大学入学者数推計【2040】	2,673			3,527		
(国公私別)【2040】	1,537	0	1,136	1,331	564	1,632
入学定員充足率推計【2040】	72.6%			88.8%		
(国公私別)【2040】	74.9%	—	69.7%	86.0%	88.1%	91.4%
大学進学者数【2021】-大学進学者数推計【2040】	-1,755		(-29%)	-790		(-11%)
大学入学者数【2021】-大学入学者数推計【2040】	-979		(-27%)	-626		(-15%)

(参考) 大学進学者...各県に所在する高校等を卒業した者で、全国いずれかの大学に進学した者
 大学入学者...各県に所在する大学に入学した者

経営判断指標フローチャート

定量的な経営判断指標に基づく経営状態の区分(法人全体)

※平成27年度から

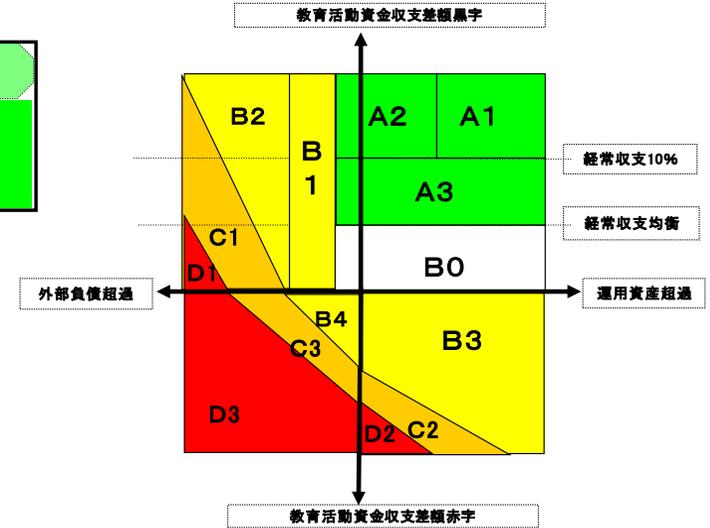


① 教育活動資金収支差額
 一般に学校法人の破綻は資金ショートにより起こると考えられるため、経営悪化の兆候を早期に発見し、経営破綻を防止するためには、1年間の経常的な教育研究活動の結果として現金が生み出せるかが重要になる。

②③④⑤ 運用資産は十分か、外部負債は返済可能な額か
 教育活動資金収支差額が赤字の時は、過去の蓄積である運用資産を取り崩すこととなる。特に多額の外部負債がある場合には将来的に返済可能な額かが問題にある。黒字の時でも、外部負債が過大であれば同様の問題がある。また、期末の運用資産が少なすぎる場合もリスクが大きい。

⑥⑦ 経常収支差額
 経常収支差額が黒字でなければ自己資本を取り崩すことになるため正常状態とはいえない。また経常収支差額が黒字であっても、基本金組入相当の黒字が生じていなければ経常収支は均衡しないため黒字幅で2つに区分した。

⑧ 積立率
 減価償却累計額等の要積立額に対して運用資産の蓄積が十分になされているか。



●教育活動資金収支差額

【教育活動資金収入】

学納金収入 + 手数料収入 + 特別寄付金収入(施設設備除く) + 一般寄付金収入 + 経常費等補助金収入(施設設備除く) + 付随事業収入 + 雑収入

【教育活動資金支出】

人件費支出 + 教育研究経費支出 + 管理経費支出

+ 調整勘定等

※教育活動資金収支差額および経常収支差額の「3か年」とは、一昨年度、昨年度の決算実績および今年度決算見込み3か年を指す

●外部負債 = 借入金 + 学校債 + 未払金 + 手形債務

●運用資産 = 現金預金 + 特定資産 + 有価証券

●耐久年数とは「あと何年で資金ショートするか」を表し、原則として修業年限を基準に設定

●修正前受金保有率 = 運用資産 ÷ 前受金

●経常収支差額 = 経常収入(教育活動収入計+教育活動外収入計) - 経常支出(教育活動支出計+教育活動外支出計)

●積立率 = 運用資産 ÷ 要積立額(減価償却累計額+退職給与引当金+2号基本金+3号基本金)

「経営判断指標」に基づく経営状態区分の集計結果

「レッドゾーン」(D3～D1)に分類される法人の割合は、2.7%から2.9%に増加。

「イエローゾーン」(C3～C1、B4～B1)に分類される法人の割合は、17.8%から23.4%に増加。

●2023年度決算ベースの区分(法人種は2024年度時点)

項目		D3	D2	D1	C3	C2	C1	B4	B3	B2	B1	B0	A3	A2	A1	計	B1以下
大学法人	法人数	4	9	4	3	16	1	1	93	3	2	157	203	37	38	571	136
	割合	0.7%	1.6%	0.7%	0.5%	2.8%	0.2%	0.2%	16.3%	0.5%	0.4%	27.5%	35.6%	6.5%	6.7%	100.0%	23.8%
短大・高専法人	法人数	1	0	1	0	10	1	0	23	2	0	25	23	3	1	90	38
	割合	1.1%	0.0%	1.1%	0.0%	11.1%	1.1%	0.0%	25.6%	2.2%	0.0%	27.8%	25.6%	3.3%	1.1%	100.0%	42.2%
計	法人数	5	9	5	3	26	2	1	116	5	2	182	226	40	39	661	174
	割合	0.8%	1.4%	0.8%	0.5%	3.9%	0.3%	0.2%	17.5%	0.8%	0.3%	27.5%	34.2%	6.1%	5.9%	100.0%	26.3%

●2022年度決算ベースの区分(法人種は2023年度時点)

項目		D3	D2	D1	C3	C2	C1	B4	B3	B2	B1	B0	A3	A2	A1	計	B1以下
大学法人	法人数	7	6	3	4	9	1	1	65	4	1	135	247	47	37	567	101
	割合	1.2%	1.1%	0.5%	0.7%	1.6%	0.2%	0.2%	11.5%	0.7%	0.2%	23.8%	43.6%	8.3%	6.5%	100.0%	17.8%
短大・高専法人	法人数	1	0	1	1	7	1	0	24	0	0	32	25	2	2	96	35
	割合	1.0%	0.0%	1.0%	1.0%	7.3%	1.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	33.3%	26.0%	2.1%	2.1%	100.0%	36.5%
計	法人数	8	6	4	5	16	2	1	89	4	1	167	272	49	39	663	136
	割合	1.2%	0.9%	0.6%	0.8%	2.4%	0.3%	0.2%	13.4%	0.6%	0.2%	25.2%	41.0%	7.4%	5.9%	100.0%	20.5%

※割合については、小数第2位を四捨五入しているため、合計しても100%とはならない場合があります。

※留意点

- (1) 経営判断指標に基づく区分は、あくまで将来見込みを含めた現在の状況を示すものであり、法人の絶対的な評価を行うものではなく、複数の法人の間での優劣を判断するものではない。
- (2) 学校法人の個別事情が十分考慮されないまま区分される場合がある(修繕費、今後の施設整備計画など)。レッドゾーンの判定であっても数年以内に必ず経営破綻する訳ではない。指標による風評被害を避けるためにも個別法人の取扱いには十分な注意を要する。
※例えば、2019年度決算ベースで「レッドゾーン」に該当していた21法人のうち、2023年度決算ベースでは10法人が「B0以上」に移行、4法人が「イエローゾーン」に移行している。

日本私立学校振興・共済事業団「私学経営ダッシュボード」

新たに理事長を始め経営者専用の情報提供プラットフォームである「私学経営ダッシュボード」を令和7年3月に開設。経営分析に必要なデータや資料の提供を通じて、学校法人が自法人の経営状況を早期に把握し、今後の経営判断に活用すること意図している。

各学校法人の経営判断指標を開示！！

This section displays a detailed view of the dashboard's data. It includes a large green 'A1' grade indicator, a bar chart with three bars of heights 135, 47, and 37, and a table with columns for 'A1', 'A2', 'A3', and '合計'. The table contains numerical values and percentages, such as 23.8%, 45.4%, 6.2%, 6.5%, and 110.0%.

The dashboard interface features a top navigation bar with '私学経営ダッシュボード' and 'Q&A' buttons. The main content area is divided into several sections:

- 経営判断指標 (Management Judgment Indicators):** A large green 'A1' grade and a circular gauge.
- レーダーチャート (Radar Chart):** A five-axis chart comparing '法人' (Institution) and '全国平均' (National Average) across various metrics.
- 財務指標 (Financial Indicators):** Multiple bar and line charts showing trends for '全学平均' (Overall Average) and '法人別' (By Institution).
- 人事指標 (Human Resources Indicators):** Line charts showing trends for '全学平均' and '法人別'.

Q&Aによる問題解決

- **利用対象者**
学校法人理事長および役員
※役員には監事を含む
- **利用対象者数**
1法人につき最大2名
※事前登録制

※画像はイメージにつき、実際の仕様とは異なる場合があります。
※私学事業団私学振興事業本部ホームページ「経営支援・情報提供」よりアクセスが可能です。

『学校法人の経営改善等のためのハンドブック』①

私学事業団では、経営困難に陥る学校法人が増加する予想のもと、経営改善を進める必要のある学校法人が取組を進めるための参考とできるよう、今後取り組むべき道筋や具体的な手法などをまとめた『学校法人の経営改善等のためのハンドブック』を作成。現在は第2次改訂版が公表されている。

I 経営悪化の認識

- 1 経営悪化とその兆候の認識
- 2 経営悪化を具体的にチェック
- 3 関係者が経営悪化にきづくタイミング

II 相談

- 1 私学事業団
- 2 外部相談先の例
- 3 相談内容
- 4 相談前の準備
- 5 相談後の取り組み

III 経営状態の分析

- 1 定量的な問題点の洗い出し（定量的な環境分析）
- 2 定性的な問題点の洗い出し（定性的な環境分析）
- 3 SWOT分析
- 4 分析が困難になった場合

IV 経営状態の情報共有

- 1 情報共有の前の心構え
- 2 問題意識共有による効果
- 3 情報共有の具体的方法
- 4 情報共有のための責任者

V 経営改善計画の策定

- 1 実施体制
- 2 改善戦略
- 3 財務シミュレーション作成
- 4 計画策定上の注意点
- 5 リスクシナリオ（経営改善計画通りに進まない場合の対応方針）の策定

VI 経営改善計画の実行

- 1 実施体制
- 2 各改善策のPDCA
- 3 目標達成が困難な状況での判断

VII 合併等

- 1 学校法人や私立学校における合併等の類型例
- 2 合併等までの流れと留意点

VIII 再生（再建）

- 1 私的整理（再建型）
- 2 民事再生

IX 撤退

- 1 撤退までの流れと留意点
- 2 破産手続き



『学校法人の経営改善等のためのハンドブック』②

【P54「IX 撤退」より抜粋】

学校法人においては、経営が悪化し自力での再生が困難になることを極力避けなければならない。仮に、有効な解決策が見つからず破綻が不可避と見込まれる場合は、不採算部門について自主的な撤退に向けた判断を行うことになる。具体的には、学生等の募集停止を行い、募集停止後は、学生等が卒業するまで運営を継続し、在校生がすべて卒業してから学校を廃止することになる。

在校生を全員卒業させてから学校を廃止することが、経営陣としての責務であり、学校法人が破綻に陥り、学生等の修学機会を奪い、経営を途中で放棄するような事態になってはならない。資金がないと撤退もできないため、問題を先送りにせず必要な資金があるうちに、早期に学生等募集停止の決断を行うことが大切である。

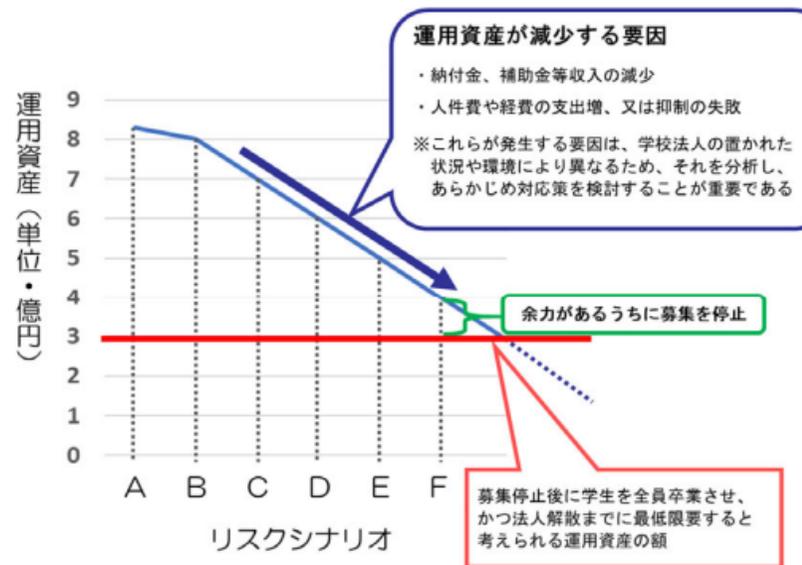
【P30「参考：リスクシナリオのイメージ」より抜粋】

学校法人における最悪のリスクを、在學生を全員卒業させることが出来ない経営状態に陥ることとした場合、その対応としては、募集停止以降に在學生を全員卒業させるために必要な資金及び、学校の廃止や学校法人の解散に必要な資金をあらかじめ算出し、それらを賄える運用資産の額が確保されている間に募集を停止することが考えられる。

◎リスクシナリオのイメージ

判断基準		リスクシナリオ
A	8億円以上	現行の経営改善計画を推進
B	8億円未満	経営改善計画で定める以上の経費支出削減策を実施 外部機関への相談
C	7億円未満	遊休資産の売却。 人件費支出の削減策（新規雇用の抑制、給与・賞与の減額等）を実施
D	6億円未満	慢性的に学生募集が困難となっている学部の募集を停止
E	5億円未満	他法人との合併を検討するとともに、合併が成立しなかった場合を想定し、募集停止から廃止、法人解散についてスケジュール等を検討を開始する
F	4億円未満	運用資産に余裕のあるうちに大学の募集を停止

◎運用資産の減少とリスクシナリオの関係



経営に課題を抱える学校法人に対する取組の全体像

文部科学省

学校法人運営調査委員制度 (S59年度～)

- ◆ 学校法人の健全な経営の確保を目的に、管理運営組織やその活動状況、財務状況等を調査し、必要な指導・助言を実施、改善状況を確認
- ◆ 委員は私立学校関係者、弁護士、公認会計士、マスコミ関係者等
- ◆ 特に経営状況が厳しいと認められる一部の学校法人に対して、経営改善計画の作成及び計画の実施状況の報告を求め、経営改善の進捗状況を把握
- ◆ 経営改善計画の作成には私学事業団による経営相談等の活用を勧め、進捗状況の確認は学校法人運営調査委員によるヒアリング等を活用し、必要な指導・助言を実施

学校法人



学校法人に対する一体的な経営支援・指導

経営力強化に向けた環境整備

- 教学、人事、施設、財務等に関する事項について長期的ビジョンを踏まえた計画策定を義務化
- 学部単位での設置者変更を可能とする制度改善
- 合併等を検討する学校法人のマッチング（私学事業団による経営相談の一環）
- 地域連携プラットフォーム構築
- 大学等連携推進法人制度の創設

日本私立学校振興・共済事業団

経営相談・自己分析の促進

- 学校法人の要請に応じ、役員や教職員等からのヒアリングや経営上の問題点の分析等を実施し、改善策をアドバイス
- 学校法人がデータや分析資料を活用できるシステムを提供。さらに要望に応じた個別分析データも作成・提供
- 「経営改善のためのハンドブック」作成・提供
- 学校法人による経営状況の自己分析の一助となる「経営判断指標」を提供。学校法人の本業である教育研究活動の収支状況と資産状況に着目し、支払不能の危険性の程度を段階わけ

経営指導の充実・強化 (R元年度～)

- 資金流出傾向を踏まえた資金ショートリスクや「経営指導強化指標※」の該当状況等を考慮し、経営悪化傾向にある学校法人を一定の基準に基づき客観的に把握
※ 「「運用資産－外部負債」がマイナス」かつ「「経常収支差額」が3か年マイナス」
- 学校法人運営調査委員会において、資金ショートリスク等の経営悪化状況を総合的に勘案し、集中的な経営指導を実施する学校法人を決定
- 私学事業団の経営相談を必須として経営改善計画を策定させ、3～5年を目安に経営改善実績を上げるよう、学校法人運営調査や進捗報告等を毎年行いながら、集中的な指導・助言を実施
- 経営改善できず支払不能等のリスクが確認された学校法人に対しては、対応方策を示した上での経営上の判断（募集停止や組織廃止等を含む）、及び、その方策の方向性の財務書類等への明記を求める指導通知を发出
- 学校法人が財務書類等へ記した対応方針を、文部科学省がまとめて公表

学生・保護者等から信頼を得るためにも経営力を一層強化し、継続的・安定的に質の高い高等教育を提供

経営に課題を抱える学校法人に対する指導について

経営指導対象の学校法人数は、一時的な増減はあるが、全体として増加傾向にある。

経営指導対象の学校法人数の推移（令和2～7年度）

年度	R2	R3	R4	R5	R6	R7
経営指導の 対象法人数	25	27	27	24	32	42

【財務面】

- ① 学校法人全体では余力があるものの、大学部門が恒常的に大きく支出超過の状態となっており、**大学部門が原因で法人全体の経営持続が危ぶまれる状態にも関わらず、有効な対策が取られていない。**
- ② 私学経常費補助や修学支援新制度の交付要件を踏まえ定員を大幅に切り下げた結果、**定員充足率が100%を超えても大幅な支出超過となる状態であり持続的な経営がそもそも困難にも関わらず、部門の廃止等の議論を忌避している。**
- ③ **資金ショートリスクが顕在化しているにも関わらず、リスクシナリオを策定していない、または部門廃止の判断基準が示されていない等、抽象的な内容にとどまり、不十分な内容。**
- ④ **経営状態が悪化し、資金ショートリスクが顕在化しているにも関わらず、募集停止した場合の必要資金の試算等の必要な財務シミュレーションを行っていない。**
- ⑤ **経営状態が悪化傾向にあり、財務シミュレーションは行っているが楽観的な仮定（全国的に定員充足率が低い傾向の分野にも関わらず、入学者が右肩上がり等）に基づいており、現実的なシミュレーションとなっていない。**
- ⑥ **法人の経営状態を教職員に伝え問題意識を共有する努力を怠っており、資金ショートリスクが顕在化してから支出削減等を実施しようとしても、教職員から十分な協力が得られない。**
- ⑦ **定員未充足等の原因分析が不十分であり、対応策が根拠に基づいたものになっていない。**
- ⑧ **大幅な支出超過の状況にも関わらず、学生数の回復による学納金収入の増加策のみで、具体的な支出削減策を立てていない、もしくは著しく不十分な内容。**
- ⑨ **固定資産等、換価性が必ずしも高くない資産売却について、売却先が確定しないにも関わらず資産売却収入が速やかに入る計画となっている、または路線価等での試算のみで実際の売却価格とかけ離れるリスクがある。**
- ⑩ **耐震改修が行えていない。施設・設備の改修等が必要にも関わらず、施設設備必要金額の試算を行っていない。そもそも施設計画が十分に立てられていない。**
- ⑪ **部門廃止等の判断を一度行ったにも関わらず途中で判断を覆す等、重要な事項の経営判断が短期間で大きく変わる。**

近年の学校法人運営調査において、学校運営に課題があると認められる事例(その他)

【管理運営面】

①改正私学法に対応した規程改正等が十分に行われていない。

(例1) 改正私学法第36条第3項により、理事会から理事等の下位機関に委任できないこととされた事項について、旧規程のまま理事長への委任事項とされている。

(例2) 改正私学法第36条第3項第5号に定める内部統制システムについて、基本方針が理事会で決定されていない、方針が決定されていても規程や事務組織等の整備面が不十分。

②厳しい経営状況であるにも関わらず、監事監査を定型的な内容でしか行わず、理事会での経営面への適宜の意見等も行われていない。

③理事会・評議員会への出席率が著しく低い理事・評議員が多く存在し、期待される役割を十分に果たしていない。

④策定又は公表義務がある規程等の対応ができていない。

(例) 無報酬であることを理由に、改正私学法第100条に定める役員報酬基準の策定・公表をしていない。

⑤理事長と代表業務執行理事や業務執行理事の業務分担等が明確に決まっておらず、指揮命令系統が曖昧である。

⑥理事長が特定の部門以外の業務執行に関心を持たず、他部門で問題が起きても対処する意向がない、または非常に意識が薄い。

【教学面】

① 大学設置基準等を満たしていない。

(例1) 大学設置基準等の別表第1、別表第2に定める基幹教員や教授数が大学等全体で基準未滿、もしくは基準未滿の学科等が存在。

(例2) 大学設置基準第21条等に定める必要な学修時間について、授業時間と事前事後学修時間を合計しても満たしていない。

② 認証評価機関の指摘についての認識が甘く、対応に非常に時間をかけている、もしくは十分な対応を行っていない。

③ 学生に授業アンケート結果を学生にフィードバックしておらず、教育内容の改善等につながっているか学生に伝わっていない。

④ 大学設置基準等の下限値の教員しか確保しておらず、設置校の行っている教育課程や研究活動を鑑みた場合、質を担保するのに十分な教員数を確保しているか懸念がある。

⑤ 外国人留学生の受け入れ拡大計画があるが、在籍管理体制が十分ではない。適切な語学力の確認ができているか懸念がある。

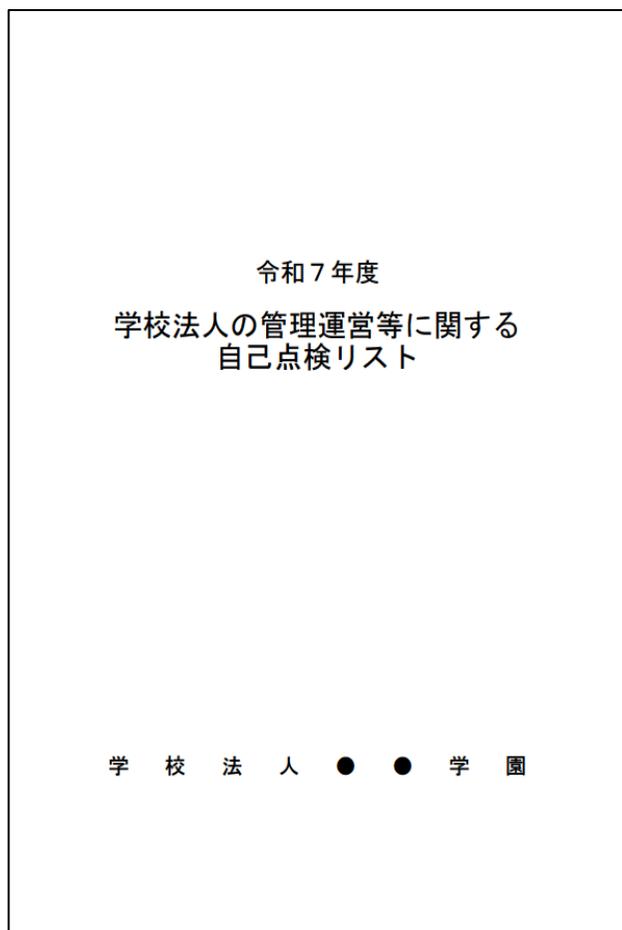
⑥ 外国人留学生を受け入れているが、日本人学生との交流機会をほとんど設けない等、国際交流の教育効果を狙った受け入れとなっていない。 23

学校法人運営調査における確認事項等の公表について

学校法人運営調査は、管理運営面・財務面・教学面等多岐にわたる調査事項を確認している。学校法人が自らの法人運営全般の適正性を確認する際に、参考になる部分も多いと思われることから、以下URLに調査の際に調査対象法人に提出を求める「自己点検リスト」を掲載。

(https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/shinkou/07021403/001/003.htm)

※現在掲載しているのは、令和7年度版の自己点検リスト。



○ 自己点検リスト

- 目次 -

I 経営全般	2
II 管理運営面	2
1 理事・監事・評議員の就任状況	2
2 理事長等の職務執行状況	5
3 理事会の運営状況	7
4 理事による特別の利益供与・競業取引・利益相反取引等	10
5 評議員会の運営状況	11
6 監事の監査状況	13
7 内部統制システムの整備状況	17
8 会計監査人(※)の監査状況	18
9 顧問・参与等	19
10 規程等の整備状況	19
11 予算・事業計画・中期的な計画・事業報告書	20
12 収益事業・付随事業	21
13 出資会社・関連当事者	22
14 登記・届出・書面の備付け・情報公表	23
15 ガバナンス・コードへの対応状況	25
16 PDCAの実施状況	25
III 財務面	26
1 財務状況(フローに関する事項)	26
2 財務状況(ストックに関する事項)	29
3 財務状況(その他の事項)	33
4 経営基盤充実・強化のための取組み(中期的な計画)	35
5 施設設備の整備	36
IV 教学面	37
1 教学マネジメント等	37
2 教育課程・学修成果の把握	38
3 入学者選抜	39
4 教員	39
5 学生支援	40
6 校地・校舎	41
7 自己点検・評価	41
8 認証評価	42
9 FD・SD	42
10 教育情報の公開	43
V その他	44
1 紛争	44
2 社会貢献	44
3 公益通報	44

1

3. 再編・統合等による規模の適正化に向けた私立大学の経営改革強化への転換

現状と課題

- ✓ 2040年には大学進学者数が3割減少、大学の収入も3割（1兆円）減少する見込みであり、縮小・撤退は不可避な状況
- ✓ 自力再生が「極めて困難な状態」は17法人（3.0%）、「困難な状態」は119法人（20.9%）で今後更に増加する可能性
- ✓ 円滑な撤退等に向けた支援、学生保護の仕組み整備が不可欠

目指すべき姿

- ✓ 全ての大学が2040年代の学生数等を念頭に、必要とされる役割を果たせるよう、短期・中長期の改革に今から計画的に着手
- ✓ 国による指導、制度、私学助成等の体系的な仕組みにより、円滑な連携、統合、縮小、撤退等を推進
- ✓ 学籍簿管理等の法人撤退に係る影響に備えた仕組み整備

<施策の具体的な方向性>

経営指導の強化等

- 学校法人の経営状況の評価指標を再検討・評価段階に応じた体系的な経営改革のシステムの構築
 - ・ リスクが一定段階に至った学校法人における経営改革計画の策定・進捗状況管理等（私学助成の要件化）
 - ・ リスクが高い学校法人への指導強化（指導対象法人の拡大（100校程度）縮小・撤退等の勧告、対応状況の公表等）
- 学校法人の経営力強化に向けた経営方針や経営状況を踏まえた**資産運用・寄附募集等による財源の多様化促進**

学校法人間の連携・合併、円滑な撤退に向けた支援等

- **学校法人の吸収合併や学校法人間の財政支援等に係る設置認可・私学助成上のボトルネック解消**
- **撤退に向けた伴走支援のための私学事業団における専門家チームの設置**
- 安易な公立化の回避に向けた私大の公立化に係る留意事項（人材需要、財政負担、学生確保の在り方）の明確化

学生又は卒業生の不利益を最小限にする取組

- 文部科学省や私学団体との連携を通じた**私学事業団における解散法人の学籍簿管理・証明書発行への対応等**

学部等新設の厳格化（スクラップ・アンド・ビルド、再編・統合の推進に向けた見直し）

- 審査体制の充実、経営面・定員充足率の基準の引上げ等

Ⅳ 更なる検討を要する事項

教育研究の質の向上方策として、文理横断・文理融合教育の推進、学修者本位の教育の更なる推進に向けた手厚い教育指導体制の構築、新たな評価制度の在り方や、附属病院の充実方策等については、本検討会議として、今後さらに検討を深めることとする。

再編・統合・縮小・撤退等による規模の適正化に向けた取組①

大学進学者数の激減する2040年代に向けて、社会構造の変化に応じた大学の理系転換や文系学部のダウンサイジングによるST比の改善等を通じた教育の質向上に加え、大学の収容力と大学進学者数の均衡が図られるよう、①経営状況の悪化した大学の早期撤退促進と②地域のエッセンシャルワーカー等を養成する大学への構造転換支援等を行う。

私立大学数、入学生数等 (令和7年度) 大学院大学・通信制大学を除く

学校数	入学定員	入学者数	入学定員充足率
594	502,755	510,839	101.61%

大学進学者数推計 62.7万人 ▶ 59.0万人 ▶ **46.0万人 (約27%減)**
(国公立全体、出生低位・死亡低位推計) (2021) (2035) (2040)

1. 経営状況の悪化した大学の早期の経営判断促進

(1) 文部科学省における経営指導対象法人の拡大：令和7年度 約40法人 ⇒ 100法人以上に拡大 (R8～)

- 経営指導対象法人における「経営改革計画」策定の義務化 (R8～)
- 資金ショートリスクの高い学校法人に対し文部科学省・私学事業団による集中的な経営指導を実施し、進捗状況に応じて縮小・撤退等を勧告・法人の対応を公表 (R8～)
- 経営悪化の兆候が見られる法人に対してはモニタリングをする方向 (R8～) で検討中 → 関係通知を发出済【P】
- 「経営改革計画」を私学助成の交付要件 (R8～) とし、取組・進捗状況が不十分な場合は減額等を実施

※取組の成果を踏まえる必要があるため、進捗状況の私学助成への反映はR11～を想定

【経営指導の具体的な流れ】

- ・ 資金ショートリスクが一定段階に至った法人を経営指導対象として指定 (リスク度合いに応じて指導強度を類型化)
- ・ 当該法人は「経営改革計画」を策定し、文部科学省が当該計画等に基づき経営指導を実施。
- ・ 取組・進捗状況が不十分な場合、私学助成の減額等を実施。
- ・ 原則5年間の指導で自主的な経営改善が見込まれない場合、学部等の廃止、大学閉鎖等を勧告・法人の対応を公表。

※経営改善の進捗状況によっては、早期 (3年目又は4年目) に勧告・公表。



(2) 定員充足状況に応じた私学助成の減額・不交付（9割未満から減額、5割未満で不交付）（実施中）

(3) 学校法人間の連携・合併、円滑な撤退に向けた支援等

- 私学事業団における専門家チームの体制強化等により、撤退に向けた伴走支援
- 学校法人の吸収合併や学校法人間の財政支援等に係る設置認可・私学助成上のボトルネック解消
- 一定の要件を満たす場合、学生募集停止後等においても、私学助成による支援を実施（R6～R10）
- 学校法人解散時における学籍簿等管理の枠組み創設（検討着手）
- 学校法人の解散が増加することが想定されることを踏まえた、解散に係るガイドラインの検討着手

(4) 学部等新設の厳格化（スクラップ・アンド・ビルド、再編・統合の推進に向けた見直し）

- 審査体制の充実及び審査の厳格化（R8～）
 - ・ 経済界をはじめ、会計士、弁護士等の割合を増やす構成とするなど、審査体制の充実やプロセスの見直し
 - ・ 財務関係書類に係る審査の早期化及びリスクシナリオ等の審査の充実
 - ・ 経営状況及び経常経費の保有要件など、財務要件の見直し
- 定員充足率の基準の引上げ等（R9～）
 - ・ 学部等を廃止する具体的な計画があり、大学の収容定員の総数は増加しない場合等には申請を可能とすることを前提とした、定員充足率の基準の引き上げ（0.5倍から0.7倍へ）

2. 地域のエッセンシャルワーカー等を養成する大学への構造転換支援

地域構想推進プラットフォーム等を通じて、知事と学長が人材需要を共有し、地域企業の支援や大都市大学との連携などにより地域に不可欠な医療や福祉分等を育成する方策を協議・実行。こうした取組を進める地方中小規模大学に対しては、私学助成において重点支援。（一部実施中・更に拡充予定）

「2040年を見据えて社会とともに歩む私立大学の在り方検討会議」を踏まえ、過去通知の「学校法人運営調査における経営指導の充実について」の基本的枠組みは維持しつつ、より経営指導を充実・強化する観点から、「学校法人運営調査における経営指導の充実・強化について」を新たに発出し、いずれの通知も次のURLに掲載。

(https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/shinkou/07021403/001/003.htm)

新通知の主な内容は以下の3点。

(1) 従来からの仕組みに基づく経営指導対象法人に加え、経営指導対象法人と比較する経営状態が良いが経営悪化の兆候(※)が見られ、早期からモニタリングが必要と判断される学校法人をモニタリングの対象に選定

※教育活動資金収支差額が3か年のうち2か年赤字の状況が2年連続で見られることに加え、流動比率や運用資産余裕比率の財務指標を総合的に勘案。

(2) (1)の対象法人のモニタリング方法は、以下の通り実施

○対象法人が経営改革計画(※)を所定の様式で策定。

※中期計画等ですでに経営改革計画の内容について定めがある場合は、抜粋して記載することも可能

○策定した経営改革計画を、日本私立学校振興・共済事業団に提出。

○提出された経営改革計画については、文部科学省と日本私立学校振興・共済事業団が連携して確認し、必要に応じて助言等を行う。

(3) 私立大学等経常費補助金の交付要件化

○従来からの仕組みに基づく経営指導対象法人及び(1)において選定されたモニタリング対象法人については、令和8年度から経営改革計画を私学経常費補助の交付要件に設定。

○令和11年度以降は、従来からの仕組みに基づく経営指導対象法人については、経営改革計画の取組・進捗状況が不十分であり、財政状況の改善が見込まれない場合は、私立大学等経常費補助金を減額予定。

学校法人の資産運用をめぐる状況の変化

背景

平成20年のリーマンショックを発端として、デリバティブ取引や仕組債などにより多額の損失が発生したことを踏まえ、学校法人に対し、資産運用に関する注意喚起の観点から通知を发出

文部科学省「学校法人における資産運用について（通知）」（平成21年1月6日）

【学校法人運営調査委員会において取りまとめられた「学校法人の資産運用について（意見）」を添付して、注意喚起】

一般に学校法人がどのような方法で資産の運用を行うかについては、各学校法人が寄附行為や関連諸規程等に従い、**自らの責任において決定**するものである。その際、資産の効率的な運用を図ることが一般論としては求められるが、一方で、学校法人の資産は、その設置する学校の教育研究活動を安定的・継続的に支えるための大切な財産であるため、**運用の安全性を重視**することが求められることは言うまでもない。

（中略）

学校法人としては、現下の国際金融情勢等も十分に踏まえ、**元本が保証されない金融商品による資産運用については、その必要性やリスクを十分に考慮し、特に慎重に取り扱うべき**である。

（中略）

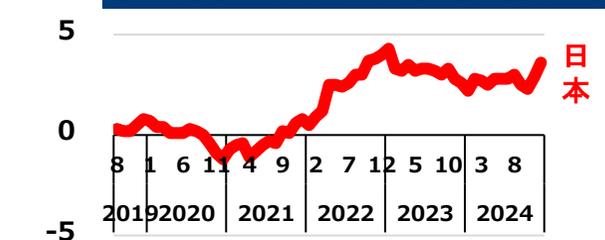
公教育を担う学校法人の資産運用については、その**安全性の確保**に十分留意し、必要な規定等の整備を行い、学校法人としての**責任ある意思決定**を行うとともに、執行管理についても規定等に基づいて適正に行うなど、**統制環境の確立**に努める必要がある。

30年の金利ゼロも終わり、社会情勢に応じた対応が求められる時代へ

現在

インフレ圧力の高まりや金利上昇局面などの新たな課題により、多くの大学で中心的である「預金・債券中心」の運用のみでは十分なリターンを確保しづらくなっている。

(%) 消費者物価指数増減率の推移（前年同月比）



（出所）総務省「消費者物価指数」を基に作成。

大学の資産運用の在り方に関する研究会について（概要）

現状認識

- インフレ圧力の高まりや金利上昇などの新たな状況下で、多くの大学（法人）で中心的であった「預金・債券中心」の運用のみでは十分なリターンを確保しづらくなっている。様々な社会情勢の変化の中、従来の財務構造から脱却し、大学（法人）の経営方針や経営状況を踏まえた計画的な資産運用等による財源の多様化により、中長期的な財務安定性を確保し、経営基盤の強化が急務。

- それぞれの大学の財務状況等に応じた**資産運用の在り方について、複数の選択肢を示し、各フェーズに応じて検討すべき事項を整理し、ガイドブックをとりまとめる。**

これから資産運用開始を検討していく大学

（現預金のみ、安全資産のみ運用、一部元本割れの可能性のある商品を運用しているが、積極的な運用にまでは踏み切れない 等）

- 資産運用の開始にあたり検討すべき事項
 - ✓ 運用目的
 - ✓ 運用目標
 - ✓ 運用方針
- 資産運用を行う体制
- 運用方法の選択、リスク管理
- アセットオーナー・プリンシプルの受入表明について

既に一定レベルの資産運用を行っている大学

（専門人材等の体制を確保済、積極的な運用が可能 等）

- 資産運用のさらなる規模拡大・高度化の課題、方策
 - ✓ 長期投資による複利効果を活かした資産規模の拡大
 - ✓ 高度な運用（オルタナティブ投資）

スケジュール	議題（案）
第1回（10月21日）	資産運用の開始にあたり整理しておくべき事項（特にこれから資産運用を開始していく大学を想定）
第2回（12月4日）	資産運用のさらなる規模拡大・高度化の課題・方策
第3回	ガイドブック（案）についての議論

⇒ 夏前頃 ガイドブックとりまとめ予定